

2018年10月31日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

日本文教出版株式会社

第9回 データビジネス創造コンテストを開催 ～Digital Innovators Grand Prix 9 (DIG9)～ 「わたしたちがになう未来へ」をテーマに、未来の日本の姿を予測し、 より良い社会にしていくための提案募集

慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：田中 浩也）データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、今回のビジネスパートナーである日本文教出版株式会社（代表取締役社長：佐々木 秀樹、以下 日本文教出版）のサポートのもと、「第9回 データビジネス創造コンテスト ～Digital Innovators Grand Prix 9（略称：DIG 9）」を開催いたします。

1.趣旨

本データビジネス創造コンテストは、全国の高校から大学院に通う生徒・学生を対象として、「わたしたちがになう未来へ」をテーマに、e-Stat や教育用標準データセット等を活用し、未来の日本の姿を予測し、より良い社会にしていくための提案を求めます。また、本コンテストの参加者の解析から提案の流れが、今後の教育の先導的事例となることを期待しています。

慶應義塾大学 SFC 研究所は、今回のコンテストのテーマ策定や審査、表彰等の運営をビジネスパートナーの日本文教出版とともに進めていきます。また、独立行政法人統計センターから「教育用標準データセット（SSDSE）」を、今回のコンテストに活用すべくご協力いただきます。SSDSEとは、e-Stat（日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイト）に収録されている「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」の市区町村データから約100項目余を抜き出し、縦に市区町村、横にデータ項目が並ぶ表形式のデータです。

2.実施概要

■テーマ（目的）

「わたしたちがになう未来へ」

■評価の観点

データ活用	提供データをうまく活用しているか
データ収集	提供データ以外にもデータを集めているか
データ解析	データをきちんと解析できているか
実現・継続性	実際に実現でき、継続できるものか
教育的価値	データサイエンス教育として他の模範になれるか

■スケジュール

申し込み開始	2018年10月28日（日）
エントリー締切	2019年2月7日（木）
本選出場チーム発表	2019年2月25日（月）
本選プレゼンテーション・表彰式	2019年3月16日（土）

慶應義塾大学三田キャンパス 東館 G-Lab にて開催

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院に所属する生徒・学生（社会人経験者を除く）

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

日本文教出版株式会社

■後援

経済産業省（申請中）、総務省統計局、独立行政法人 統計センター、国立研究開発法人 科学技術振興機構（申請中）、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所、一般社団法人 日本統計学会、応用統計学会（申請中）、公益社団法人 オペレーションズ・リサーチ学会（申請中）、一般社団法人 情報処理学会 情報処理教育委員会、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会、一般社団法人 データサイエンティスト協会

■協力

アクセント株式会社、株式会社ブレインパッド、NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社、株式会社電通、株式会社デジタルガレージ、独立行政法人 統計センター

【第9回データビジネス創造コンテスト公式サイト <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig9/>】

【日本文教出版株式会社について <https://www.nichibun-g.co.jp/>】

日本文教出版は文部科学省検定教科書（小学校・中学校・高等学校）の発行を主とした教科書出版社です。特に図画工作・美術・工芸の教科書でトップシェアをもつ会社ですが、そのほか、社会、生活、算数・数学、書写、道徳、情報の教科書を発行しています。中でも「情報」はデータサイエンスと関連の深い教科です。本コンテストへの協力を通して、次期学習指導要領でも注目されている「データ活用・データサイエンス」に関する知見を深め、有益な教材開発及び、学校現場への情報提供を通じたサポートを展開していきたいと考えています。

【慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボについて <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/>】

データビジネス創造・ラボは、慶應義塾大学 SFC 研究所内に設置された、IT、統計、ビジネスデザインの融合方法を研究するグループです。データサイエンティスト育成カリキュラムの構築、ならびに先進的なビッグデータの集計・解析手法等の共同研究を行うとともに、2014年からは、産官学協働のもとデータ分析によって導き出されるアイデアを競い合う「データビジネス創造コンテスト」を開催しています。

「データビジネス創造コンテスト」過去のテーマ

第1回(2014年4月)	「ソーシャルデータ」を用いた新たなサービスへの展開やその価値について
第2回(2014年9月)	「オープンデータ」を用いた自治体の新たな政策や解決方法について
第3回(2015年9月)	「消費者の購買行動に関するデータ」を用いた新商品・新サービスの開発アイデアや新たなプロモーション施策について
第4回(2016年3月)	「データと創造力で、子育てに笑顔を！」をテーマに、自ら情報収集・分析し、少子化問題への理解を深めるとともに、データ分析から導きだされるビジネスアイデアの提案について
第5回(2017年3月)	「地方創生・地域活性化」をテーマに外国人のWiFiアクセス分析やオープンデータを使った分析によって、訪日外国人を呼びこむ施策の提案について
第6回(2017年9月)	「スポーツ×アナリティクスによる未来創造」をテーマに、スポーツおよびスポーツ観戦にかかわるデータの分析を通じた、個人・団体・社会の活性化施策の提案について
第7回(2018年3月)	「和食文化による価値創造」をテーマに、消費者発信のクチコミデータを活用し、様々な分野で和食文化による新たな価値を創造する施策の提案について
第8回(2018年9月)	「書店の未来」をテーマに、書籍販売データやオープンデータを利用し、読書文化の未来を創造するようなネット時代の「Neo書店」の提案について

【慶應義塾大学 SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>】

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21 世紀の先端研究をリードする研究拠点として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

- *本プレスリリースに掲載されている会社名・商品名は、それぞれ権利者の商標または登録商標です。
 - *本選の観覧、取材等をご希望の方は、下記問合せ先にご連絡をお願いいたします。
-

【本コンテンツに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局

e-mail : dig-info@sfc.keio.ac.jp

日本文教出版株式会社 編集部 高等学校情報科担当

e-mail : joho-staff@nichibun-g.co.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

e-mail : kri-pr@sfc.keio.ac.jp

T E L : 0466-49-3436

F A X : 0466-49-3594